

安全データシート

1. 化学品および会社情報

製品名 ドルフィンスケール
販売元 株式会社レボテック TEL03-5647-1535
住所 東京都足立区谷在家 3-21-18
製造元 株式会社スマート
住所 大阪府大阪市平野区平野西 2-1-20
緊急連絡先 技術部 上田貴康 TEL:06-6797-4096

2. 成及び成分情報

組成、成分情報
単一製品・混合物：混合物
含有物 ：界面活性剤
 酸性フッ化アンモン（15%未満）
 硝酸（10%未満）
 安定剤
 腐食防止剤

3. 危険・有害物質の分類

危険、有害物質 ：酸性フッ化アンモン（フッ化水素アンモン）
危険・有害物質の分類：腐食性物質 国連番号1727
物理化学的危険性
分類外もしくは区分外
健康に対する有害性、急性毒性
皮膚腐食性・刺激性 区分 1A-1C
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分 1
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） 区分 2（肺（吸入））
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） 区分 2（歯 骨）
絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷（H314）重篤な眼の損傷（H318）呼吸器系の障害（H371）
長期又は反復ばく露による歯、骨の障害（H373）金属腐食の恐れ（H290）

官報公示整理番号：化審法公示番号 1-311と1-306の複塩

CAS No. :No.1341-49-7

皮膚・目を刺激し炎症を起こす。適切な処置を行わないと失明することもある。誤飲すれば体に悪影響を及ぼす。

危険・有害物質：硝酸

危険・有害物質の分類：腐食性物質・急性毒性物質・その他有害物質

GHS分類

酸化性液体 区分 3

人健康有害性

急性毒性（吸入：ミスト） 区分 2

皮膚腐食性・刺激性 区分 1A

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分 1

特定標的臓器・全身毒性

（単回ばく露） 区分 1（呼吸器系）

特定標的臓器・全身毒性

（反復ばく露） 区分 1（歯、呼吸器系）

吸引性呼吸器有害性 区分 1

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：危険

危険有害性情報：火災助長のおそれ：強酸化性物質（H272）

吸入すると生命に危険（ミスト）（H330） 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷（H314）

重篤な眼の損傷（H318）呼吸器系の障害（H370）

長期又は反復ばく露による歯、呼吸器系の障害（H372）

飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ（H330） 金属腐食の恐れ（H290）

官報公示整理番号：化審法公示番号 1-394

CAS No. :No.7697-37-2

腐食性のある液体である。他の物資と反応して水素ガスや強塩基と激しく反応する酸化剤と反応して硝酸ガスを発生する。蒸気は眼及び気道を刺激し、液体に触れると皮膚及び眼に薬症を起こし失明の恐れがある。（20%硝酸参考）

4. 応急処置

目に入った場合：コンタクトの有無を確認し、着用している場合は外して直ちに多量の清浄な水で15分以上洗目をする。洗眼後直ちに医師の診断を受けてください。

皮膚に付着した場合：汚染された衣服を速やかに脱ぎ捨て大量の流水で洗い流す。

異常が認められる場合はすぐに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：吐かせずに多量の水または牛乳を飲ませ、直ちに医師の診断を受けてください。

5. 火災時の措置

火災時の措置：火から遠ざける間に合わない場合は、容器に水を掛け冷却する。

消火剤：当液自体は不燃性なので周辺火災に適合した消火剤を使用する。

6. 漏出時の措置

漏出した液が少量の場合、漏れだした液は土砂等に吸着させて取り除くか、又は石灰ソーダ等で中和させた後、多量の水で洗い流す。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い：できるだけ換気をよくして取り扱う。保護具を使用して使用する。

保管方法：使用しないときは容器を密閉する。子供の手が届かない所に保管する。

8. 暴露防止および保護措置

酸性フッ化アンモン

管理濃度：未設定

日本産業衛生学会：－

ACGIH：2.5mg/m³

保護具：呼吸用保護具 防毒マスク

保護眼鏡 保護眼鏡

保護手袋 ゴム手袋

保護具 作業着、耐薬品性前掛け等

硝酸

日本産業衛生学会：2ppm 5.2mg/m³

ACGIH：TWA 2ppm 5.2mg/m³

保護具：呼吸用保護具 防毒マスク

保護眼鏡 保護眼鏡

保護手袋 ゴム手袋

保護具 作業着、耐薬品性前掛け等

9. 危険性情報

可燃性：なし

発火性：なし

反応性：あり

酸化性：あり

自己反応性：なし

10. 有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

皮膚に付いた場合：刺激があり、長く接触すると火傷になることがある。

目に入った場合：刺激があり、炎症を起こす。失明の恐れあり。

飲み込んだ場合：胃腸等消化器官を刺激する可能性がある。

11. 廃棄上の注意

PH を 7 に調整し規制条例に基づき処理をする。

12. 郵送上注意

容器漏れの無い事を確かめ損傷、転倒、落下のないように積み込む。

13. その他情報

特になし